

2025年8月28日  
アルプスアルパイン株式会社

## 小型で静音の2回路2接点スイッチ量産開始 -多様化するブレーキシステムでの採用を狙う-

アルプスアルパイン株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役 社長 CEO：泉英男、以下「アルプスアルパイン」）は、車のサイドブレーキ用スイッチとして過去10年で3億5000万個以上を出荷している2回路2接点スイッチの新製品「SPVQFシリーズ」を8月に量産開始しました。本製品の特長は従来品の「SPVQCシリーズ」と比較して横幅が約半分に小型化され、静音となっています。



### 背景

---

近年の車載市場では、サイドブレーキ（パーキングブレーキ）の操作方法が大きく変化しています。従来の手引き式や足踏み式から、ボタン操作による電動パーキングブレーキ（EPB:Electric Parking Brake）への移行が進む中、車内中央部の液晶パネル化などによるレイアウトの見直しも進み、パーキングブレーキボタンの多様化が求められています。また、電気自動車の普及に伴い、操作音の静音化ニーズも高まっており、本製品はその両方を満たし、お客様の要望に応えるため開発を進めてきたものです。

### 主な特長

---

- ・ 2回路2接点の検出スイッチは片方の回路に異常が生じた際に、もう一方の回路が機能を補完することで信頼性を確保。安全性が重視される部位での使用に適しています。
- ・ 回路構造の見直しにより従来品「SPVQCシリーズ」より50%ほど横幅が縮小。車内の操作ボタンにおける配置の自由度向上に貢献します。
- ・ 従来品「SPVQCシリーズ」より5dBほど静音。走行音の静かな電気自動車での使用を考慮しています。

## 【製品情報】

項目	仕様
製品名	SPVQF シリーズ
外形サイズ	W6.3×D8.5×H7.0 mm
作動力	1.8N max.
最大定格	50mA 18V DC
初期接触抵抗	75mΩ max.
動作寿命	300,000 回
保護構造	IP6K7

## 【用途例】

車載用電動パーキングブレーキ

## 【販売情報】

販売開始時期：2025 年 8 月

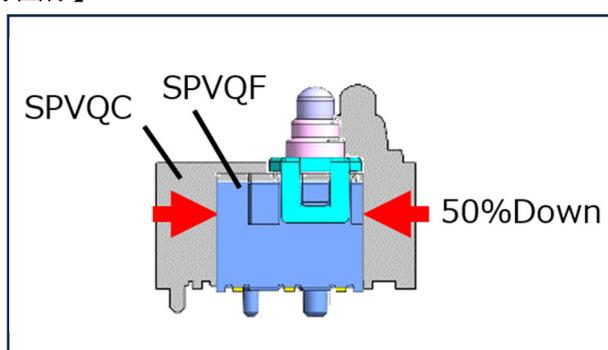
サンプル購入：<https://tech.alpsalpine.com/j/products/detail/SPVQF10201/>

## 今後の展開

自動運転技術や電気自動車の進化により、2 回路 2 接点スイッチは冗長性と安全性を求められる車載制御周りでの採用が進んでおり、本製品は2027年度中に月間100万個以上の出荷を目標としています。今後もアルプスアルパインでは、お客様の多様なニーズに応える製品ラインアップの拡充を進め、より高い価値を提供できるよう努めてまいります。

以上

## 【参考画像】



▲従来品との比較



▲車載用電動パーキングブレーキイメージ

<お問い合わせ先>

アルプスアルパイン株式会社コーポレートコミュニケーション部 PR 課

電話 050-3613-1581 (部門直通)

E-mail [alpsalpine-pr@alpsalpine.com](mailto:alpsalpine-pr@alpsalpine.com)